

氏名	伊藤 真理	生年月日	
所属・役職		経験年数（うち本業務の類似業務従事年数）	
	特別研究員	26年（20年）	
専門分野	公衆衛生学、疫学・予防保健学、生命倫理学、精神保健福祉学		
所有資格	修士（公衆衛生学、専門職）		
経歴（職歴／学位）	<p>学歴</p> <p>1989年3月 日本女子大学家政学部家政理学科（生物農芸専攻）卒業</p> <p>2009年3月 東京大学大学院医学系研究科修士課程修了 （公共健康科学専攻：老年社会科学分野所属）</p> <p>2013年9月 東京大学大学院医学系研究科博士後期課程単位取得満期退学 （健康科学看護学専攻：老年社会科学分野、疫学・予防保健学 分野所属）</p> <p>職歴</p> <p>1987年4月～1989年3月 国立科学博物館植物研究部技術補佐員</p> <p>1989年4月～2008年10月 朝日新聞社（編集局記者）</p> <p>2009年1月～2010年10月 一般社団法人日本生殖補助医療標準化機構 （倫理委員会委員）</p> <p>2010年12月～2012年7月 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター （研究所、福祉と生活ケア研究チーム）</p> <p>2011年4月～2015年3月 独立行政法人国立がん研究センター中央病院 （乳腺科・腫瘍内科外来研究員）</p> <p>2013年9月～2014年5月 独立行政法人国立がん研究センター がん予防・検診研究センター （検診研究部特任研究員）</p> <p>2013年10月～現在 東京大学大学院医学系研究科客員研究員 （疫学・予防保健学分野）</p> <p>2015年4月～現在 社会福祉法人プシケおおた相談員</p> <p>2015年6月～現在 公益財団法人未来工学研究所</p>		
所属学会等	日本公衆衛生学会、日本生命倫理学会、日本保健医療社会学会		
業務の実績			
[学会発表]			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 沖縄県民の食生活・栄養摂取の変遷と健康状態の変化に関する文献的検討 （日本公衆衛生学会、2008年11月、福岡） 2. 那覇市における中学生の食環境が栄養素摂取量に及ぼす影響 ーファーストフード店、コンビニエンスストアに着目してー （日本公衆衛生学会、2009年11月、奈良） 3. 沖縄県B市における小中学生の食事と運動、生活習慣に関する実態調査（第一報） （日本健康医学会、2009年11月、東京） 4. 沖縄県における中学校周辺の食環境の検討ー地理情報システム（GIS）を用いてー （日本学校保健学会、2009年11月、沖縄） 5. 子宮頸がん検診の受診を阻む要因と改善策の検討：自己採取HPV検査キットを用いて （日本公衆衛生学会、2014年10月、栃木） 6. 子宮頸がん住民検診未受診者層への自己採取HPV検査導入トライアル（島根県出雲市） （日本公衆衛生学会、2015年11月、長崎） 			
[助成研究等]			
<ol style="list-style-type: none"> 1. やずや食と健康研究所 2007年度助成研究「琉球列島における社会経済環境の変化と栄養転 			

